

「古い蓮」会報

Vol.15 冬号

2017 Winter



易



手相



九星気学



西洋占星術

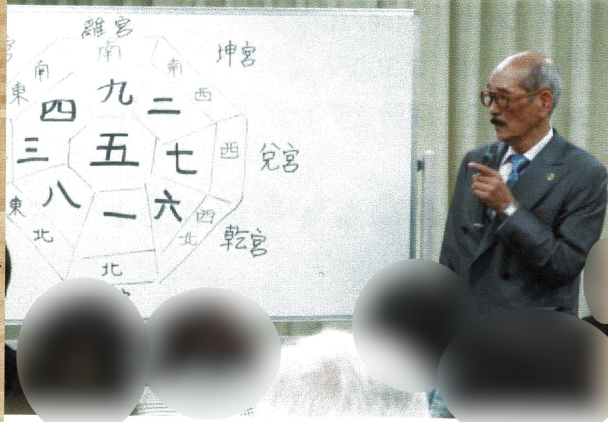


四柱推命



タロット

開運セミナー 弘法大師空海秘伝の開運法



始めに、会長秘書の青木先生から「弘法大師空海」についての説明があり、その後会長による、本邦初公開、弘法大師空海秘伝の開運法の講義へと移りました。平安時代、弘法大師空海により唐からもたらされた真言密教秘伝の開運法を惜しみなく教えてくださいました。

「開運の鍵は日盤にあり」

きめ細かな説明に初めて学ばれる方も納得の表情。長年学んでいる者にとっても驚きの内容でした。後半は、積極的な質問に沸きました。最後にタロットカードを使っのワンポイント鑑定もあり、充実した3時間でした。もっと気学を学んでみたくなった方、増えたのではないのでしょうか。

今から次のセミナーが楽しみです。

上北礼英

「霊場恐山を訪れて」



この度、私たちは恐山大祭の最終日(7/24)に合わせて

参拝するご縁を頂きました。出発の前日は、前線が東北地方を覆い大雨は奥入瀬川を氾濫させる程でしたが、その最中、現地に入られた中村会長の強いご祈念が通じた様に、当日の参拝は空気が澄みわたる最良の天気恵まれました。

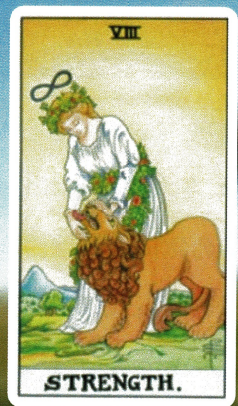
日本三大霊山の恐山は、約1200年前に慈覚大師円仁が開いた聖地であり、ご本尊は地藏菩薩です。道中、「冷(ひや)水」を頂き心身浄めて霊場に。

硫黄ガスが漂う中、地獄に表される光景に座するお地藏様の前で、私たちは中村会長による先祖供養をして頂きました。会長のご祈祷が届いた証は法鈴に現れました。

今ここの自分は先祖の歩みの延長線上にあり、その恩恵を受けています。また、子が上長を敬い感謝で思いを寄せること(先祖供養)により、子孫を護る力が増すことは上下交流の摂理と学びました。

大祭であるこの貴重な時にこの地を訪れることが出来たこと、そして皆様とのご縁に深く感謝いたします。

河田皓姫



Ⅷ 力

力のカードでは、人の「欲求」がライオンの姿で描かれています。花を飾った白いドレスの女性が手なずけているライオンはまるで飼い猫のようにも見えますが、本来の姿は百獣の王として名高い野生のライオンです。

「頭でわかっているのに行動できない」というお話を、きっと私達はたくさん知っています。「神から禁じられた知恵の木の実を食べたイヴ」「開けてはいけない箱を開けたパンドラ」「機織(はたお)りの最中は姿を見てはならないと夕鶴に言われていたのに覗いてしまった与ひょう」などなど。頭でわかっているように行動できないのは人間の性かもしれません。きっと失敗してしまった彼らもその寸前まで「だめだめ!やってはダメ」と思ったでしょう。けれどそれを上回る「欲求」がありました。「だめとわかってるけど、この欲求を止められない」と。力のカードでは、その「欲求」がライオンの姿で描かれています。花を飾った白いドレスの女性が手なずけているライオンはまるで飼い猫のようにも見えますが、本来の姿は百獣の王として名高い野生のライオンです。このカードでは人の欲求というものは百獣の王であるライオンのように手強いものであり、そうそう手なずけられるものではないことを意味しますが、同時にそんな欲求を持つ、あるがままの自分をコントロールすることこそが本当の「力」であると教えてくれます。

佐々木皓咲

お知らせ

「祝」日本赤十字社より

平成29年度感謝状授与

10月26日 直弟子 綾部皓庵先生 並びに 弟子 野村榮仙先生が、日赤献血ルーム(吉祥寺タキオン)における鑑定ボランティア活動の功績を讃えられ、日本赤十字社より感謝状を授与されました。誠にありがとうございます。先生方には尚一層のご活躍とご健康をご祈念いたします。



「無財の七施 (むざいのしちせ)」ということ



神仏を信仰するに際して、よく言われる事の一つに「布施」という徳目があります。布施といいますが、まず我々の頭に浮かぶのは、法事の時に坊さんに差し上げる「お布施」とか、神社仏閣参詣のおり喜捨箱に投じる「お賽銭」ではないでしょうか。ですから「布施をしなさい」と言われると、中には私はお金も物もないから布施は出来ません、逆に自分の方こそ恵んでもらいたいくらいですと、

不平不満の一つも言いたくなる人も出てくるわけです。

実をいいますと、布施とは必ずしも物質的な事柄に限られるわけではないのです。「無財の七施」という自分さえその気になれば、たった今からでも七種類の喜びを人に布施することが出来るのです。眼施(やさしい眼ざし)、和顔施(にこやかな笑顔)、和語施(親切でなごやかな言葉使い)、身施(敬いに満ちた礼儀正しい行動)、心施(うるわしい思いやり)、牀座施(しょうざせ ゆずり合い)、房舎施(ぼうしゃせ 気持ちのよい待遇)、以上を無財の七施といいます。これだけは財無くともその心構えさえあれば、必ず実行出来る布施の行です。 文責 青木 祐導

歳末チャリティー占い 今年一年の感謝を込めて

鑑定料(女性鑑定師)

20分 1,000円

延長 10分 500円

開催日時

12月7日(木)・12月8日(金)・12月9日(土)

12月14日(木)・12月15日(金)・12月16日(土)

11時半～19時まで(最終受付18:30迄)



開運カレンダー販売開始

平成30年版 開運カレンダー 占い蓮店舗にて販売開始 3,300円

365日毎日の運勢をチェックできる優れものです。



年末年始休み

12月27日(水)～平成30年1月3日(火)まで年末年始休業とさせていただきます。

「食で元気に!」 No.3

立冬を過ぎ、吹く風の中に冬の気配を感じるようになりましたね。この時期は空気が乾燥し、乾燥が招くトラブルによる咳、乾燥肌や便秘などの不調を招くと言われています。

夏の間にたまった疲れをとり、これからくる冬本番に備えて、旬の食材でエネルギーをしっかり蓄えておきましょう。

■薬膳的食材

【レンコン】

肺の働きを補い、津(しん)液(えき)(※)や血を補うことで体を潤し呼吸器系のトラブルや、秋の乾燥が招く便秘や肌のかさつきの解消に役立ちます。※津液:体を潤している水分、体液のこと

【しめじなどのキノコ類】【米】【鶏肉】

気(※)を補い、胃腸の機能を高めることで、秋から冬に流行りやすい風邪やインフルエンザなどに負けない、免疫力の高い体づくりに効果的。※気:目に見えないエネルギーのこと。全身をかけ巡り体を出入りするもの。



■備考

まだ夏の暑さが残る初秋は、スパイスのきいた刺激の強い料理をとりすぎると、汗をかくことで潤いをうしなってしまう。秋も深まり寒気を強く感じるようになったら生姜やネギなどの体を温め気のめぐりをよくする野菜をうまく取り入れましょう。

参考資料:国際薬膳師/調理師/フードコーディネーターである鳥海明子氏のHP「キレイのいろは」より

【材料2人分】

米 1合 鶏肉 150g

れんこん 150g しめじ 1/4パック(60g)

海苔 少々

(調味料)

しょうゆ 大さじ1と1/2 胡麻油 小さじ1

はちみつ 大さじ1 酒 大さじ1

オイスターソース 小さじ1 米酢 大さじ1

【作り方】

- ①れんこんは、いちょう切りにして、さっと水にさらしたら、キッチンペーパーで水気を切る。
- ②しめじは石づきを切り落とし、ほぐす。鶏肉は一口大に切る。
- ③フライパンにごま油を熱し、鶏肉を炒めて焼き色をつけたら、れんこんとしめじを入れ炒め、全体に油がまわったら、調味料を加えて2分程度炒める。
- ④汁気をすこし残して火を止め、温かいごはんに③を混ぜる。
- ⑤器に盛り、焼き海苔をのせる。

占い蓮

★掲載ご希望の内容がありましたら、発行予定日2ヶ月前までにご連絡下さい。
★お弟子の皆さまへ・・・HP掲載の写真やプロフィールに関して・・・スキルにあわせて変更のご要望は随時お申し出下さい。

関東現代易占学研究会

〒167-0053 東京都杉並区西荻南3-10-6 西荻スカイビル5階 TEL (03)5941-5921

「占い蓮」は商標登録中の商標です。